

宗実支部長がラジオ関西出演

海外赴任時は早めに予防接種の準備を

協会会員が出演するラジオ関西番組「寺谷一紀と い・しょく・じゅう」内「医療知ろう！」コーナーに3月8日、姫路・西播支部から宗実琴子支部長(姫路市・宗実医院)が出演し、「海外赴任時のワクチン接種の効果と必要性」について語った。



パーソナリティの寺谷氏(左)らに語る宗実先生(中央)

宗実先生は、海外に長期間滞在する場合、狂犬病やB型肝炎などへの感染の危険性があり、渡航前に予防接種を受けてほしいと強調、ワクチン接種には半年はかかるため、早めにかかりつけ医に相談してほしいとリスナーに呼びかけた。また、「かわいいと思っても、海外では動物に触らない」など、海外で注意すべき点についても語った。



第241回幹事会から

2月23日(木) 於 姫路じばさんびる 参加 4人

- ◆姫路・西播支部の会員数 649人(医科 444人、歯科 205人)
- ◆情勢と運動対策、その他 税・社会保障一体改革、診療報酬改定内容について意見交換した。
- ◆支部の活動・企画 診療報酬・介護報酬改定研究会、接遇研修会(5月予定)など

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。お問い合わせは、Tel 078-393-1807 小西まで。

担当事務局交代のお知らせ

4月から姫路・西播支部担当の事務局が下記のように変更となります。今後とも、よろしくお祈いします。

3月まで 小西さくら・岡本光男 → 4月から 田村美樹・岡本光男

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.183 2012年3月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

研究会「今年のスギ花粉症」感想文

本質的治療は減感作

姫路・西播支部が2月4日、兵庫フローラルイン姫路で開催した研究会「今年のスギ花粉症」(講師 明石市・永本医院院長 永本浩先生)の感想文を紹介する。

「今年のスギ花粉症」のテーマで永本浩先生の講演を聴かせていただきました。先生は耳鼻科を開業しておられますが、大学では解剖学、外科学を専攻されていたそうです。



活発な質疑が交わされた

花粉症はスギ花粉だけでなく、ハンノキ、ヒノキ、シラカバ、イネ、等が問題になるとのことでした。

スライドに花粉の電子顕微鏡写真が使われていました。解剖学の研究をされていたので、形態学から物事を理解されている姿勢が伺われました。

花粉予想について耳鼻科医は予想が外れることが多いので予報しないとのことでした。

花粉が抗原となり、結果として肥満細胞を刺激し症状を誘発することをわかりやすく説明されました。

鼻鏡の上手な使い方も教えていただきました。花粉症だけでなく、インフルエンザ簡易検査のときに鼻鏡が一つあれば確実性が増すと言われました。

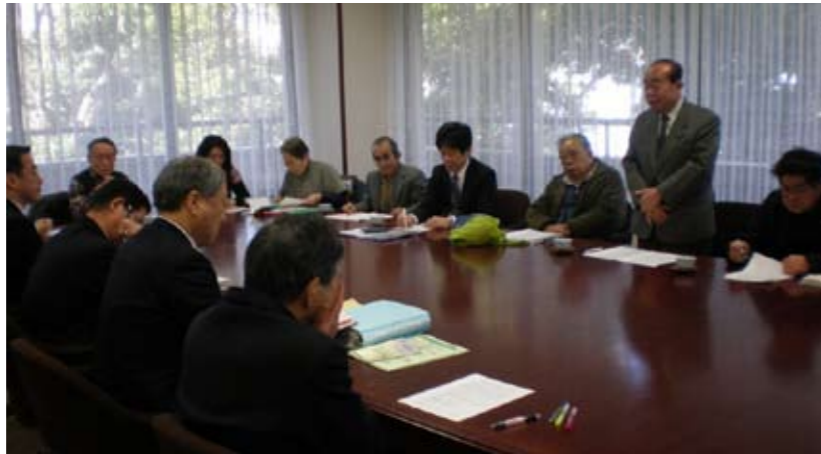
耳鼻科の花粉症に対する仕事を、短時間ではありましたがわかりやすく説明していただきました。治療についても、抗アレルギー剤の特徴と使い方をわかりやすく説明していただきました。しかし、花粉症の本質的な治療法は減感作法であると言われたのが印象的でした。

【たつの市 高森 信岳】

市民目線の行政を

44条減免の活用や差し押さえ見直し求める

姫路・西播支部も加盟する西播社会保障推進協議会(西播社保協、会長・宗実琴子支部長)は2月17日、姫路市国保課との懇談を実施した。関係団体から12人が参加し、姫路市の井上市民生活部長、井上国保課長、溝淵課長補佐、田磨係長が対応した。



姫路市に国保問題の改善を求めた

昨年11月の自治体キャラバンで、国保について意見交換する時間がとれなかったため、改めて懇談を申し入れていたもの。

西播社保協は、①国保法第1条の解釈、②第44条減免、③「差し押さえ」の3点について、要請と質問を行ったが、姫路市は保険料納付と財政安定に固執する回答を繰り返した。

窓口一部負担金を減免することができる第44条減免について、姫路市は現在は2件適用があり、「ホームページや広報ひめじに載せ、きちんと周知する努力をしている」と回答。ただし、「適用要件は、『収入が著しく減少した場合』。ずっと貧しい人は要件に該当しない。あくまで例外的な措置。誰でも使えるということになれば、財政がもたない」と、制度の適用範囲を非常に狭める解釈にこだわった。

保険料滞納による「差し押さえ」では、「昨年2月に、子ども手当でしか振り込まれていない口座を差し押さえた例があるが、これは判別できるものであり、返還すべきだ」と社保協が求めたのに対し、「以前から予告・納付相談していたが、納付に至らないため差し押さえを行った。その複数口座のうち、1口座がたまたま子ども手当だった」「4カ月も経っているのに、なぜ返さないといけないのか」「子ども手当だけが入った口座はずっと差押えられないのか。子ども手当を何百万円も貯めていて、保険料は滞納してもいいのか」などと、あくまで返還は必要ないとの見解を示した。

西播社保協は、姫路市の姿勢に抗議し、「市民の立場に立って、改めて要請内容について検討して欲しい」と要望した。今後も、引き続きこれらの問題について、要望・懇談等を重ね、見直しを求めていく。

3・3近畿総決起集会

「一体改革」反対 御堂筋でアピール

宗実支部長らも参加



御堂筋をパレードする宗実支部長(中央)、池内理事長(左端)ら

「ストップ! 社会保障と税の『一体改革』 やさしい社会をつくろう!」をメインスローガンに3月3日、大阪市の御堂会館で近畿総決起集会が開催され、1000人が参加した。姫路・西播支部から、宗実琴子支部長、池内春樹副支部長(協会理事長)、白岩一心支部幹事が参加した。集会後には買い物客などで賑わう御堂筋をパレードし、「消費税を上げるな」「命を守れ、子どもを守れ」などと訴えた。

姫路市に子ども医療費無料化求める

請願署名8千筆超える

3月議会も継続審査に

姫路・西播支部も協力する「子どもの医療費無料化を求める会」が集めている中学校卒業までの医療費無料化を求める請願署名は2月末までに8283筆が集まり、姫路市の3月市議会で改めて母親らが採択を呼びかけた。

同請願は、12月議会で審議の結果、継続審査となっていたが、3月議会でも結論が出ず、継続審査となった。

姫路・西播支部でも、1月に姫路市の会員にFAX署名を募り、66筆を集め、議会へ提出している。

同会は、今後も中学校卒業までの医療費無料化を求め、活動を継続していく予定。